

滋賀県立

# 聴覚障害者センター だより



—115号—

発行日／令和6年10月10日

発行所／草津市大路2丁目11-33

TEL 077-561-6111

FAX 077-565-6101

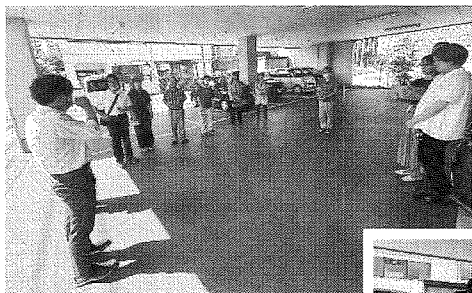
HP <https://shigajou.or.jp>

もしセンターで火災が発生したら…?

## 9月17日(火) 避難訓練実施報告

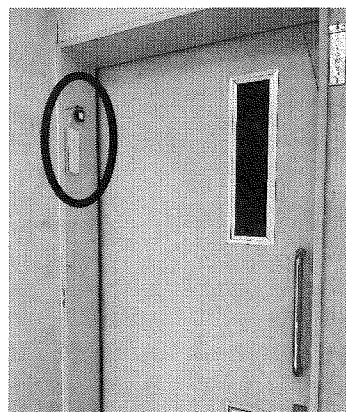
センターでは年に2回避難訓練を行うことが消防法で決まっております。9月17日(火)に今年度1回目の訓練を実施しました。今回の出火元の想定は、2階の給湯室。それぞれの担当に分かれ、すみやかに誘導・避難することができました。当日は、職員だけでなく、ろうあ協会職員や来所者合わせて計14名での参加となり、訓練後の感想をお聞きし、意見交換もできました。その後は水消火器で消火訓練も行いました。

◀訓練後の意見交換会の様子

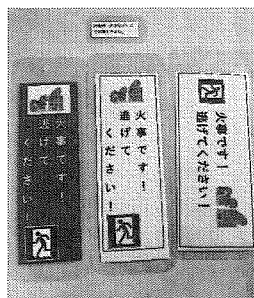


▶水消火器での消火訓練

もしセンターで火災が発生した場合は、火災報知器が鳴ると同時に各部屋の電光掲示板に「火事です」と文字が流れます。また各部屋の扉付近の天井にはフラッシュライトが光ります。ただし、トイレには有事の際の情報が流れません。そこで今回の訓練から各トイレに「火事です!逃げてください!」と表記された避難誘導カードを設置し、トイレの個室にいる方に知らせる方法として、そのカードを扉の下から入れて避難を促すようにしました。また身体障害者トイレの場合は、密室となつてしまうため、強く発光するライトをトイレ扉の外側に設置して置き、ライトと表記カードをすりガラスから表示して気づいてもらえるようにしました。もしもの際は、みなさんにもお使いいただき、命を守る行動をお願いします。またセンターにお越しの際には、カードやフラッシュライトがどこにあるのかぜひ探してみてください。



ライトとカード設置場所



避難誘導カード



強く発光するライト



ライトは点滅して注意喚起します

## 手話通訳者・要約筆記者の健康管理 頸肩腕検診を行います

首から肩・腕・背部などにかけての痛みやしびれなどがあり、原因を特定できないものを頸肩腕（けいけんわん）症候群といいます。上肢の繰り返し動作、緊張を伴うことで多発するそうです。まさに手話通訳・要約筆記者の職業病といっても過言ではありません。

1980年代から手話通訳者の健康被害が表面化し、予防対策実施が国から通達されました。

滋賀県では、2006年から健康管理事業として、健康管理委員会（\*）が「予防・検診・相談」を実施しています。

今年度も10月17日、18日にキラリエ草津にて頸肩腕検診を実施します。

検診は二段階方式で、登録手話通訳、登録要約筆記者と専任手話通訳者を対象に第一次検診（書面スクリーニング）を行い、この内容を滋賀医科大学の北原医師に診断していただき、検診が必要だと判断された方が二次検診を受けます。二次検診では、検査（握力・つまみ力・タッピング・振動感覚）

と医師による診察が行われます。

検診結果は、派遣元のコーディネートや職場での作業環境など、働き方を含めてどのように予防し対応していくか、一人の問題ではなく、県、市町、当事者団体すべてで考え改善していくことが求められます。また、毎年4月の健康管理学習会では、滋賀医科大学が検診結果の総括を発表します。

《健康に留意する、疲れをためない、痛みを我慢しない》を頭に入れ、検診で自分の身体を確認しましょう。

\*健康管理委員会 構成団体

滋賀県ろうあ協会

滋賀県中途失聴難聴者協会

滋賀県手話通訳問題研究会

全国要約筆記問題研究会滋賀支部

（社福）滋賀県聴覚障害者福祉協会

協力：滋賀医科大学社会医学講

座衛生学



全日本ろうあ連盟・全国手話通訳問題研究会 発行

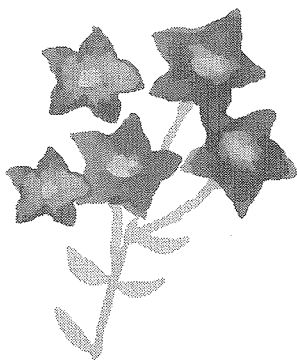
「みんなてめざそう よりよい手話通訳」には、手話通訳者の健康管理について掲載されています。

## 介護初任者研修が はじまりました

現在の高齢社会において、介護サービスの需要は増加し続け、それに伴い介護職員のニーズも高まっています。そのため滋賀県では、地域における多様な人材の介護分野への参入促進、育成、定着を図るため、県内の障害者を対象とする介護職員初任者研修を毎年開催しています。応募条件のひとつに、「手話を主たるコミュニケーション」として記載があり、聴覚障害者は手話通訳を付けて受講することができます。高齢の聴覚障害者は、手話でコミュニケーションのできる介護職員を希望することも多く、その養成は喫緊の課題となっています。

研修は例年複数の聴覚障害者が受講し、資格取得後に介護業務に従事している方もおられます。今年度も受講の申し込みがあり、9月3日から研修がはじまりました。毎年研修会場が変わり、今年度は近江八幡市内にて開催しています。週3〜4日、3月まで座学や実習の研修を続け、資格取得を目指します。

当センターとしては、聴覚障害者がより良い環境で受講できるように、研修委託を受けているNPO法人 滋賀県社会就労事業振興センターと連携しながら、手話通訳者の派遣を行っています。また、開催前の打ち合わせ、開催中の調整などを担い、受講者の修了まで今後も環境を整えてまいります。

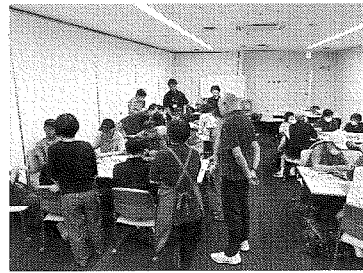


# いきいき情報教室 「おはなし交流会」米原

9月12日(木)、米原市役所市民交流エリアにて、いきいき情報教室「おはなし交流会」を開催しました。参加者は26名。前半は、ふくろうの会さん考案の2つの企画を通して、参加者同士交流を深めました。1つ目の企画は、ちぎり絵で作るふくろうの絵。これまで野洲市と東近江市で同様の企画を実施しましたが、今回はその仕上げとなる作業でした。この作品は10月20日(日)の手話ふれあいフェスティバルでお披露目の予定です。たくさんの方が関わってできた力作ですので、ぜひご覧ください。

もう一つの企画は、物語創作。グループごとに参加者が自由に話の種を持ち寄って、豊かな発想で作ったお話を披露してくれました。あつという間に時間が過ぎて、後半は聴覚障害者センターの中西久美子所長による講演です。ところどころユーモアを交えた講演に、参加した方々は笑顔を浮かべていました。一方、地震に関する話や

身近なニュースには、みなさん領きながら真剣なまなざしで見入っていました。いきいき情報教室は今後も、11月に湖南地域、1月に湖東地域、3月に湖北地域で、開催を予定しています。次回参加希望の方は、時期が近づいたらチラシやセンターのホームページを確認してみてくださいね。



## 手話啓発講座の ご依頼にお応えします

聴覚障害者センターでは、手話に関する啓発講座や聴覚障害理解の啓発講座を開催しています。

一例をあげますと、湖南広域行政組合の消防職員対象にご依頼をいただき、聴覚障害者理解をはじめ消防士・救命救急士の活動現場に必要なコミュニケーション方法の取得を指導しています。

また、自動車教習所職員、介護職関係者、手話奉仕員養成講座中間のフォローアップ講座、学校、企業からの依頼にあわせて講座を組み立て、講師を派遣しています。聴覚障害者の雇用をきっかけに

学習会を開催する企業も増え、人事担当者や全職員が手話を学び、雇用された聴覚障害者とともに職場環境を整える例もあります。

### 学校での手話学習に 協力します

8月21日、ピアザ淡海にて、滋賀県教育委員会が開催する「シン・しが学校支援メニューフェア」が開催されました。

これは、専門機関が提供する教育機関で学べるメニューを紹介するもので、教職員や教育関係者、民生委員を対象に、それぞれの専門機関が学習指導の提案を行います。200を超える団体から300以上のメニューの中で、聴覚障害者センターは、「聴覚障害者理解」「手話言語」を中心に、体験や合理的配慮についての知識を紹介し、小学校から高等学校に対する今後の啓発講座依頼のPRをしました。

令和6年度  
シン・しが学校支援メニューフェア  
新しい出会い・深まる学び・伸びる子ども  
～あなたの参加が子どもの未来を変える第一歩～

日時 令和6年8月21日(水)  
15:00～18:00  
場所 ピアザ淡海(滋賀県立県民交流センター)  
滋賀県大津市におの浜一丁目1番20号

※メニューフェアとは  
明日からの授業に活かせるメニューの内容(出前授業や校外学習/工場見学の見学等)を、「1か所」内の「学校支援メニュー」に登録している支援者に直接聞くことができるイベントです。  
子どもの学びが変わる。そんな出会いが待っています。  
みなさまの御来場を心よりお待ちしております。

学校関係者からのご依頼も、お待ちしております。

# 聴覚障害者センター 見学を受け付けています

聴覚障害者センターでは、センター見学の申し込みがあります。県内の大学や、県外の福祉団体（児童民生委員さんなど）からの依頼が中心です。

玄関を入ってすぐに目につく信楽焼のためぎ、木彫りの表札、階段をのぼった正面の大きな鏡、フラッシュ付きの避難誘導灯など、聴覚障害者に関わる「貴重品」が数多くあります。階段の鏡の役割はご存じですか？

足音や会話がきこえない、きこえにくい聴覚障害者にとって、視覚情報はとても大切です。鏡は、階段ですれちがう人の情報を教えてくれます。あわてて駆け上る人とぶつからないように準備をすることができません。いろんなことが「見える」ので便利です。

他にも、廊下の天窓

は、外の明かりを取り入れて、いつでもあかるく安心して、手話での会話を楽しめます。

滋賀県の聴覚障害福祉の拠点であるセンターです。滋賀の聴覚障害福祉の事業や取り組みを紹介しながら、見学にあわせて学習会も開催しています。

建築から30年。ほころびも見えますが、これからも大切に使いましよう。

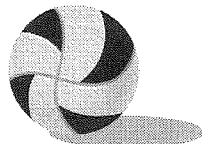
聴覚障害児及び保護者サポート事業

## 予告

昨年度好評のスポーツ企画進行中！  
詳しい企画内容は後日、お知らせします。

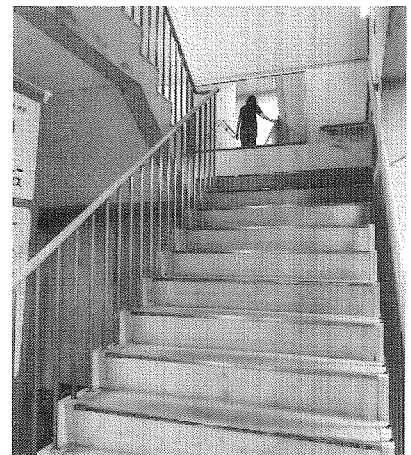
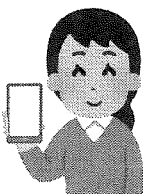
今回のスポーツは何かな…？

ヒントは…



お楽しみに！

センターのホームページでメルマガ登録をすると最新情報を確認できます◎。



## タツノオトシゴ

9月14日（土）、15日（日）に全国ろうあ者体育大会参加のため群馬県高崎市へ。会場では当たり前だが聞こえない方たちの手話が飛び交っていた。目まぐるしく展開の変わる競技中に飛び交う手話やサイン、そして喜びや悔しさが滲み出ている表情や声。

日頃の練習成果を遺憾なく発揮する選手たちを見て、応援する手に汗を握った2日間。

この時間は私にとってとても心地よい濃密なものであった。

来年も参加しよう。

(T. N)